

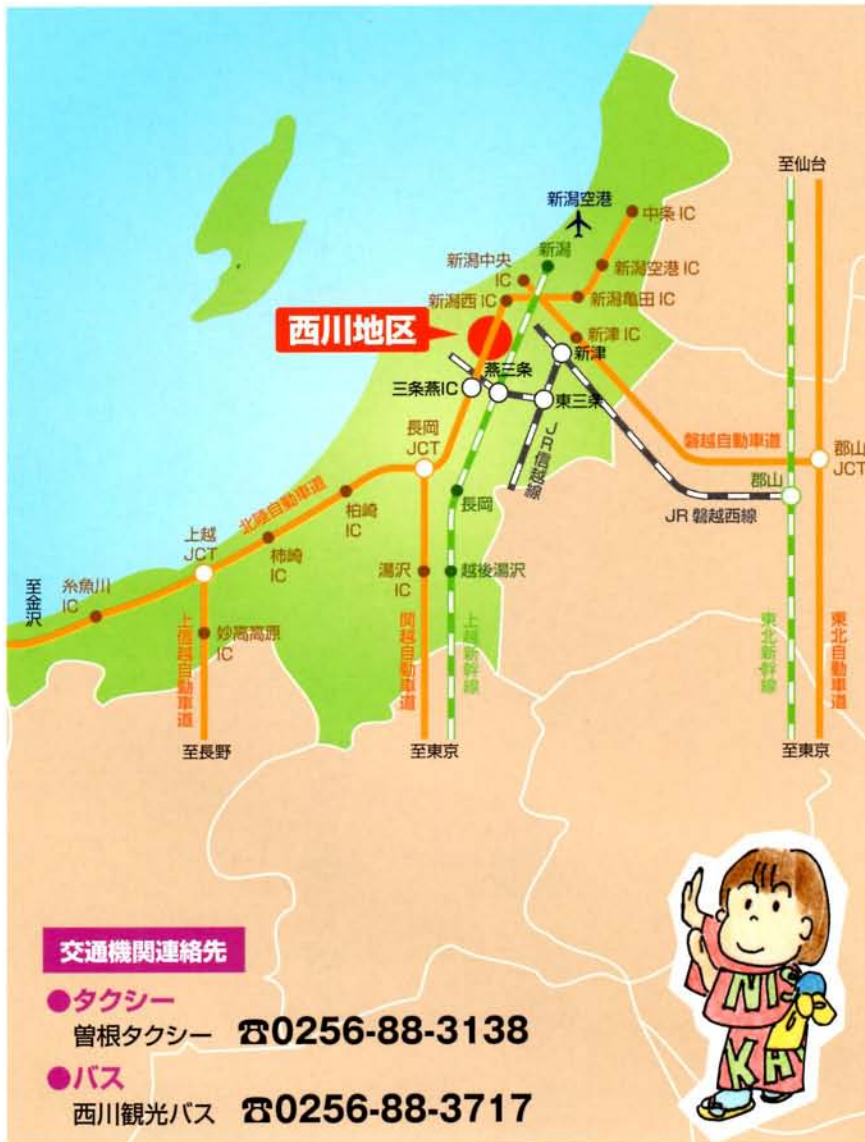


発見・感動。そして絆を深めて  
ぶらり西川、見どころいっぱい  
ガイドマップ



西川地区コミュニティ協議会

# 西川地域へのアクセス



## 自動車利用

練馬 IC	関越自動車道 3時間	長岡 JCT	北陸自動車道 35分	巻湯東 IC
金沢西 IC	北陸自動車道 4時間			黒崎 PA
福島西 IC	磐越自動車道 2時間	新潟中央 JCT	北陸自動車道 15分	スマート IC
中条 IC	北陸自動車道 15分			

西川地区

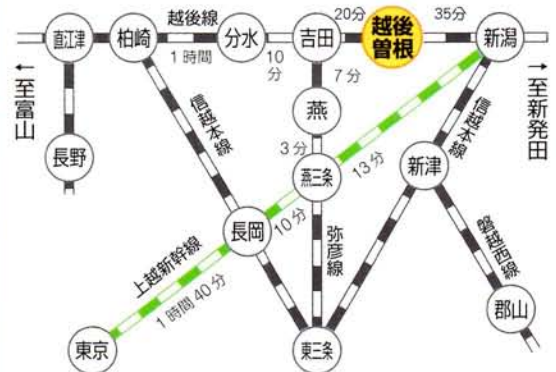
### 東京・関西方面から

- 北陸自動車道巻湯東インター R116経由 8.8km

### 福島・山形方面から

- 北陸自動車道黒崎スマートインター新潟大学環状線経由 8.2km
- 北陸自動車道新潟西インター R116経由 13.5km

## 電車利用



### 東京方面から上越新幹線

- 新潟駅 — JR越後線35分 — 越後曾根駅下車
- 燕三条駅 — JR弥彦線10分 — 吉田駅 — JR越後線20分 — 越後曾根駅下車

## 西川地域年間イベント情報

開催日	イベント名	開催日	イベント名
1月中旬	下山の賽の神(下山・川崎団地)	8月第3 金・土・日曜	西川まつり(西川町内)
2月3日	節分・豆まき(金剛寺)	9月	敬老会(西川中講堂)
4月第2日曜	桜まつり(西川ふれあい公園)	10月中旬	越後にしかわ時代激まつり(西川ふれあい公園等)
4月20日	曾根神社春季例大祭(曾根神社)	10月下旬	芸術芸能祭(西川学習館)
6月第3 土・日曜	曾根天満宮校祖祭(曾根神社境内灯籠祭り)	11月上旬	菊花展
8月16日	越後善光寺御開帳(善光寺)	11月下旬	文化講演会

※開催日等は予定ですので、変更となる場合があります。

編集・発行 **西川地域コミュニティ協議会**

〒959-0492 新潟市西蒲区旗屋585番地1  
TEL.0256-88-5900 FAX.0256-88-5900  
TEL.0256-88-3111

# 史跡と文化財



## 義人 高橋源助の首塚

天和元年(1681)10月、長岡藩曾根組割元・庄屋 高橋源助が、一身を犠牲に曾根郷四百町歩を早害から救おうと、割前地先から用水路を開削した。



## 不老山 金剛寺

中之口道上にあったと口承。早害から曾根郷耕地を救うため、割前地先から用水路を開削した高橋源助の父の発願で、寛文年間(1601~1672)に創建。



## 大関城

升湯苗代の地にあり外郭部を持って二重の堀を巡らしたものと推定されるが定かではない。上杉景勝麾下の大関阿波守盛憲の居城跡か。



## 越後善光寺

戦国時代上杉氏麾下大関氏の娘が授かったという善光寺式三尊を安置してある如来堂をいう。本尊の御開帳は年1回、8月16日である。



## 下山 法雲山泉上寺 千体地藏尊

泉上寺本堂上の間の壁に安置。身の丈は12cm、1体1体持ち物も体型も異なる。もと下山の庵寺のもの。祭礼は6月第3日曜日。



## 曾根代官所跡と檜の木

元和6年(1620)長岡藩六ヶ組の一つ、曾根組が設置され、組支配の代官所が現曾根小学校校地内に置かれた。敷地内の檜の木は当時をしのぶ唯一のもの。



## 矢島 お仙地蔵

昔、西川の洪水のため矢島の堤防が決潰した。心根優しく美しいお仙が、人身御供となって激流に身を沈め、被害の拡大を防いだという。



## 曾根神社と大櫓

永禄3年(1560)上杉景虎が見帯部落のお宮を現在地近くに移した。西川の形状が現在のように変更されると、神社も櫓も現在地に移った。



## 中才遺跡出土 横瓮

昭和32年3月12日、曾根字中才2511番(通称五反田)で発見。中世の生活用品として利用されたもの。土錘・土師器・須恵器片も出土。



## 旧曾根村・旧鎧郷村・旧升湯村 道路元標

曾根村道路元標は、曾根325番地(所有者:生田耕平氏)の地先にある。旧国道116号線と旧越後曾根停車場線との交差点にある。



## 桑山 諏訪神社天井絵

健御名方命を祭る。祭礼4月20日。現在の天井絵は平成5年8月、池田満寿夫氏の絵筆による「飛鶴」で、6枚の組絵が奉納された。



**天竺堂 割地のくじ箱とくじ棒**  
割地制度にともなう耕地割り替えの際に使用されたもの。総軒前数は23、1軒前3町2反歩。「明治15年3月10日改メ」の記載あり。

**押付 鎧八幡宮**  
明治16年(1883)、神社明細帳に「寛永2年(1625)、旧長岡藩主牧野忠成が社地を献じ社殿を建立した」旨が記載。材質は松材で精緻な手法で建立された。



**太子山 明誓寺顕如上人と親鸞聖人絵像裏書**  
信州須坂付近田子城主田子八郎右衛門明忠が永禄3年(1560)4月堂宇を創建。当寺所有「顕如上人絵像」・「親鸞聖人絵像」は西派初代准如が慶長7年、同11年に下付。「曾禰(根)村」の村名記載のある最古の文書。

# 学ぶ

先人の業績



**新保 正興** 1832~1893年  
曾根小学校の開祖  
新保塾を継ぎ、明治に曾根小学校となって以来、校祖として崇敬されている。峰岡藩校大教授、新潟師範学校教諭を歴任した。



**小林 鶯宿** 1891~1930年  
矢島の俳諧師  
大正9年盛弘社芭蕉講を結び、京都の師山口嵐更より俳諧師匠を許され活躍する。嵐更の還暦を敬する句碑が矢島に現存する。



**鈴木 鑄一郎** 1873~1953年  
やけどの名医  
苦学して医師試験に合格し、曾根に転じ、地域医療に尽くした。特に火傷の治療を開発し、県下にその名を広めた。



**山岸 徳平** 1893~1987年  
国文学者  
古典文学の大家として、古典文学会理事長を勤めた。一方学習院大学教授、実戦女子大学長等歴任した。郷土の校歌も数多く残す。



**小澤 精庵** 1796~1863年  
困学塾の教育  
元小田原藩士、見帯で塾を開き、地域の子弟の教育に尽くした。漢学の素養の上博学大樹で、時局を憂いた海防論等提言も多い。



**丸山 祐軒** 1795~1847年  
篤志の医師  
京都で医師を修行し、天保の疫病流行、弘化の大地震に身を挺し救済に当り、その最中に倒れた。長岡藩より褒賞される。



**田中 伊八** 1790~1838年  
矢島の篤志家  
造り酒屋であったが、鑑潟端地区を治水開拓をした。天保大飢饉では私材を投じて救済し、徳行百代の模範とされた。



**渡辺 更響** 1897~1945年  
日本画家  
善光寺に生まれ東京で尾竹竹坡に就く。明治の終わりに文展で連続受賞するが、病気で帰郷する。西蒲原各地に遺作が残っている。

# 楽しむ

心を癒すレジャースポット



## ふれあい公園

芝生広場をはじめとてちびっ子広場や水の広場、池や流れ、俳句のこみちや梅林、健康ロード等がある。また、「だいの家」や「西川体育センター」、ゲートボールコートがあり、憩い、健康・体力づくりの場である。各催し物も開催される。



## ゲートボールコート・西川体育センター

ゲートボールコートでは、毎日愛好家の熱戦が展開されている。体育センターでは、子供から大人まで存分に体を動かすことができる。



## 老人福祉センター「いこいの家西川荘」

ゆったりできる浴室やサロン、将棋等のできる小部屋や研修室等がある。大広間は2室あり、くつろいだりふれあったりできる。



## スポーツパーク西川

健康の増進と体力の向上を図る施設である。テニスコート3面、多目的グラウンド1面、屋根付きゲートボールコート2面がある。



## 西川野球場

両翼90mでナイター照明。バックネット裏には観客席(100席)がある。地区の野球大会やナイターリーグなどが開催されている。



## 西川図書館・西川多目的ホール

蔵書数7万6千冊のほか、CD・DVD・絵画も貸出している。併設の多目的ホールでは、コンサートや芸能発表会等が開催される。



## 西川学習館(キッズルーム等)

生涯学習の拠点として、マジック教室など様々な講座が開催されている。子供達が自由に遊べるキッズルームがとても人気である。

# 祭とイベント

熱気と活気



## 桜まつり

桜の花の下で模擬店が出店し、舞台では歌謡ショー、コンサート、踊りなどが開催され、地域の人の交流の輪が広がる。開催は4月。



## 傘ぼこ行列

曾根神社の秋の例大祭の神幸行列として行われる。曾根代官所があった江戸時代に地主や庄屋が家運の繁栄を祈るとともに豊かさの保持を供養したのが始まりと言われている。



## 民謡流し

昭和49年から行われている「傘ぼこ盆唄」の踊りはかつての農作業の仕草を取り入れたリズムミカルな動作の民謡流し。



## 屋台行列

神輿渡御とともに曾根神社秋季大祭を代表する伝統行事。7台の屋台が町内の若手、子供たちに曳かれて本町通を練り歩く。



## 神輿渡御

8月下旬に開催され、傘鉦を先頭に屋台、稚児、鉄砲持、腰馬、御神輿、宮司など約500人が本町通りを優雅に練り歩く伝統行事。



## 代官太鼓演奏会

太鼓グループ「鼓調」の演奏による「代官太鼓」は平成元年に誕生。代官・村人・庄屋の関わりが曲想となっている。



## 越後にしかわ時代激まつり

10月上旬に開催される時代激まつりの代官献上米行列は代官役、米俵を運ぶ農民役などが江戸情緒豊かに登場する。



## 神楽行列



## 曾根天満宮校祖祭

曾根小学校校祖の新保正先生しんぼせいの遺徳を偲び、子供たちが奉納した曾根神社境内いっばいの角灯笼かどとうちに灯がともる。開催は6月。



## 下山の賽の神

1月の小正月行事。竹と藁で円錐形の塔を作り、火をつけて竹にスルメや餅をつけて焼き、願い事の成就を祈る。

# 食べる

いいもの・いい味



## 西川米コシヒカリ

西川地域では、茎や根が丈夫なコシヒカリの一種であるBL米コシヒカリとして、西川と新川の水による水田で丁寧に栽培されている。味・艶・香りの三拍子が揃った美味しいお米である。



## 代官そら豆

昭和50年代半ばに、転作作物の特産品として研究され、「代官そら豆」と命名。関東方面に多く出荷され、大粒で味が良く好評。

## 農産物の直売場



数軒の農家が農産物を持ち寄り、新鮮な野菜を消費者に多く直売して、収入を増やそうと工夫している。



## 西川産の枝豆

夏の代表的な野菜である枝豆は、そら豆と同様に水田の複合経営の一つとして栽培されている。関東方面に多く出荷されている。



## イチジク 越の雫

JA越後中央のイチジク生産量は県内シェアの50%、平成21年からブランド化に取り組み、主力品種の愛称を「越の雫」と命名。



## 真鴨

真鴨は新川集落で多く飼育されている。合鴨とはひと味違って味が良いので、県内だけでなく関西方面にも発送されている。



## 代官せんべいと代官羊羹

曾根の代官所にちなんで、せんべいと羊羹が「代官」と名付けられたのは昭和27~28年頃で、西川地域の特色ある和菓子となっている。



## 清酒「雪の幻」

西川地域で仕込まれる地酒「雪の幻」は、辛口で綺麗な飲み口に人気がある。地元だけでなく、県外にも人気が広がっている。

## カリフラワー

晩秋に収穫される園芸作物のひとつとして、そら豆や枝豆とともに、生産量の多い作物である。関東方面に出荷されている。



# つくる

伝統の技と近代工業



## 石工職人

現在は地域内に2軒のみ。墓石の制作が中心。昔はノミ、ハンマーの手仕事。今は、機械で型を作り磨く。そのとき職人の技が生きる。



## 建具職人

徒弟制度の伝統が、後継者難で消滅しそう。木製の家具(障子・襖戸)を制作。製法は、工作機械に変わったが、現場で取付け作業は、熟練した手作業が必要。



## 染物職人

現在、西蒲区・燕市では、唯一残る染色業で創業は明治初期で、約140年続く。紺屋業から始まり、今は旗物・Tシャツの染色が中心。工程は昔と同じ。



## 鋸金職人

のこぎりの「めたて業」は現在、西蒲区・燕市でわずか2軒のみ。作業は全て熟練を要する手作業。現在4代目で創業140年。6つの工程で完成。林業者の注文が多い。



## 畳職人

減少傾向にあり、現在4軒。昔は太い針とこで床から作ったが、今は表と縁を残して機械(ミシン)で作る。部屋にピタリと収まるときに職人の喜びがわく。

## 大工の匠塾たくみじゆく

匠塾は住宅建築の工務店として、職人育成の私塾として、平成13年創設。工務店としては、自社で木材の調達・大工・床暖房・壁塗りをする全国でも珍しい「自社大工」。匠塾は現在19期生で100名の塾生が、大工・棟梁として活躍する、全国でも数少ない匠の学校。



## 西川第一産業センター



## 旗屋工業団地





# 西川地区ガイドブック

## ■主な公共施設等

No.	地区	位置	施設名	電話
<b>■ 行政機関</b>				
①	旗屋	D-4	西蒲区西川出張所	88-3111
②	旗屋	D-4	市総合教育センター	88-7444
③	旗屋	D-4	西部地区土木事務所	88-3312
④	曾根	D-4	学校給食センター	88-6234
<b>■ 保健・福祉</b>				
⑤	旗屋	D-4	西川地域保健福祉センター	88-3111
⑥	大潟	F-2	老人デイサービスセンター西川	88-5666
⑦	旗屋	D-4	西蒲地区介護支援センター	88-7735
⑧	旗屋	D-5	西川障害部門総合センター 工房 はたや	70-4044
⑨	大潟	F-2	市地域包括支援センター	88-5633
⑩	押付	D-5	回生園	70-4400
<b>■ 商工業</b>				
⑪	曾根	C-4	西川商工会	88-3646
<b>■ 消防・警察</b>				
⑫	旗屋	D-4	西蒲消防局西川出張所	88-2349
⑬	曾根	C-4	西蒲警察署西川交番	88-2033
<b>■ 通信・運輸・水道</b>				
⑭	鱸	C-4	西川郵便局	88-2200
⑮	鱸	C-4	JR越後曾根駅	88-2016
⑯	槇島	C-5	市西川浄水場	88-2144
<b>■ 社会教育</b>				
⑰	松崎	C-5	西川だいろの家	88-7610
⑱	曾根	D-4	市立西川図書館・多目的ホール	88-0001
⑲	曾根	D-4	西川学習館	88-6200
<b>■ 学校教育</b>				
⑳	曾根	D-4	曾根小学校	88-3128

No.	地区	位置	施設名	電話
㉑	天竺堂	B-5	鎧郷小学校	88-2121
㉒	升潟	F-3	升潟小学校	88-2581
㉓	曾根	D-4	西川中学校	88-3148
㉔	鱸	C-5	県立西川竹園高等学校	88-3131
<b>■ スポーツ</b>				
㉕	川崎	C-5	西川体育センター	88-7383
㉖	升潟	E-3	スポーツパーク西川	88-7626
<b>■ 幼稚園・保育園</b>				
㉗	押付	C-5	和光幼稚園	88-3520
㉘	曾根	D-4	曾根保育園	88-2121
㉙	曾根	D-4	みずほ保育園	88-3747
㉚	大潟	F-3	升潟保育園	88-3479
㉛	下山	B-5	鎧郷保育園	88-2286
<b>■ 児童館</b>				
㉜	槇島	C-5	鎧郷ひまわりクラブ	88-3161
㉝	升潟	F-3	升潟ひまわりクラブ	88-7302
㉞	曾根	D-4	曾根ひまわりクラブ	88-3065
<b>■ 病院</b>				
㉟	旗屋	D-4	西蒲中央病院	88-5521
<b>■ 金融・農協</b>				
㊱	曾根	D-4	第四銀行西川支店	88-3144
㊲	曾根	D-4	巻信用組合西川支店	88-2330
㊳	曾根	D-4	JA越後中央西川支店	88-7259
<b>■ その他</b>				
㊴	曾根	D-4	雪の幻醸造元	88-7895
㊵	旗屋	D-5	旗屋工業団地	—
㊶	升岡	G-2	西川第一産業センター	—

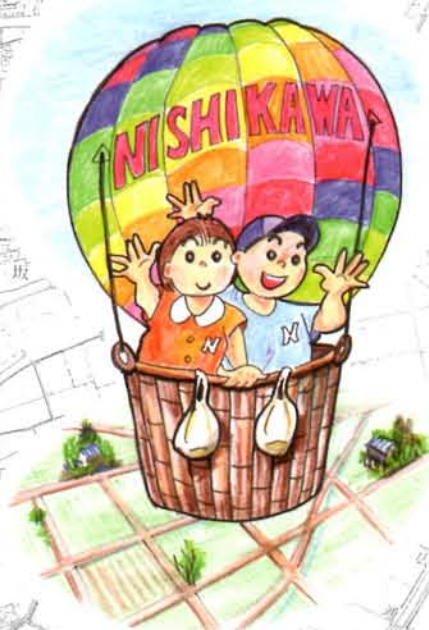
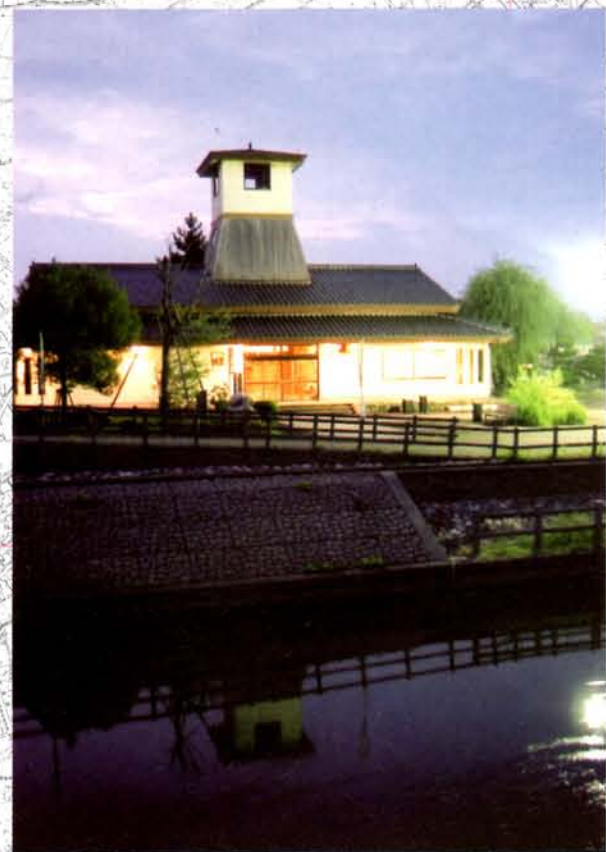
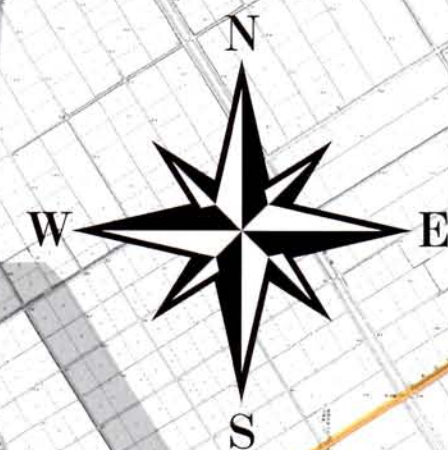
# ■主な観光名所

	No.	地区	位置	施設名	施設の概要
自然環境	①	松崎	C-5	西川ふれあい公園	西川中学校が移転した2.4ヘクタールの広い跡地に作られた公園。園内は水の広場、人工滝、俳句の小道、芝生広場、昔の代官所をモデルにしただいの家、ゲートボールコート、体育館等がある。
	②	槇島	C-4	槇島農村公園	平成18年、旧町営テニスコート脇にできた農村公園。数寄屋造りの休憩場、水飲み場、樹木、芝生広場等がある。
	③	下山	B-4	下山桜並木	新潟大外環状線下山地内完成を記念し、下山集落が約90本の桜を植えた。現在、成木となり、4月中旬に見事な花を咲かせ、通行するドライバーの目を楽しませている。
	④	槇島 曾根	C-4 C-5	西川沿いの自然と 諏訪大橋	西川沿いの散策路には、紫陽花並木、桜並木、山吹並木、花菖蒲の群生があり、春から夏にかけて美しい花を咲かせる。また、諏訪神社裏に新潟の橋100選に選ばれた朱塗りの諏訪橋が架けられている。
名所・旧跡	⑤	押付	C-5	押付稲荷神社	元禄時代(1700年代初期)押付の百姓・吉右衛門が大鷲に襲われた1匹の狐を助けた。以後、その狐の力で押付に吉運がもたらされた。村人は、狐を神として崇め、稲荷神社を建てた。
	⑥	曾根	D-4	八番町湯殿山神社	八番町金剛寺の西側にある。出羽三山の神社の一つ。明暦2年(1655)義人・高橋源助の私邸内にあった神祠を現地に鎮座させたという伝承がある。八番町が氏子となっている。
	⑦	曾根	D-4	見帯元宮	曾根神社が、永禄3年(1560)二番町の現在地に移転するまであったところ。神社名はそこからきている。その縁で、曾根神社の祭礼は見帯集落が世話役となっている。
	⑧	曾根	C-4	曾根神社大櫓	永禄3年(1560)に、信州諏訪大社の大神の分霊をいただき、現在地に水守神として祀った。境内の大櫓は、樹齢450年、高さ4.25m、根回り5.8m。ご神木となっている。
	⑨	曾根	D-4	天満宮	曾根神社境内にあり、別名「天神様」といわれ、学童の習字を展示する館がある。祭神に菅原道真と曾根小学校祖・新保正興。6月15日の例祭時に、曾根小児童が灯笼を奉納する。
	⑩	曾根	D-4	中才遺跡	大字曾根中才の曾根の東方に広がる微高の水田内(西川中学校近く)にある。平安時代の土師器、須恵器が出土している。学習館に復元された「横釜(よこべい)」が展示されている。
	⑪	矢島	C-5	浦田遺跡	大字矢島字浦田に所在。矢島集落の西南端の微高の畑地(鎧八幡宮の近く)にある。古墳時代の後半の遺跡。高坏、甕形、土師器が出土した。
	⑫	押付	C-5	鎧八幡宮	平安時代、源義家が黒鳥兵衛を討伐したときに、その鎧を奉納したので神社の名称がついたという。寛永2年(1625)長岡藩主により社殿が再建され現在に至っている。
	⑬	曾根	D-4	曾根代官所跡	元和2年(1616)長岡藩の出先機関として設置。正式名称は「長岡藩曾根組用本蔵」という。現在の曾根小学校の校地。最盛期の1858年には、55ヶ村を統括した。現在、同地に石碑と榎の木がある。
	⑭	曾根	D-4	高橋源助首塚	元和元年(1615)10月、曾根村庄屋割元だった高橋源助は、曾根郷四百町歩を早害から救うため、西川筋から用水路を引いたが役人の策謀で失敗、打ち首となった。その首が流れ着き、埋葬された場所。
	⑮	大湯	F-3	田中城跡	1540年代、長尾為景(上杉謙信の父)に仕えた、大関阿波守盛憲の居館跡。盛憲は、後の上杉家の家督争い「御館の乱」で死去。その娘、桂姫が善光寺と所縁がある。
	⑯	曾根	D-4	金剛寺	真言宗智山派の寺。移転前は、中之口村道上にあったという伝承がある。義人・高橋源助の父が寛文年間(1661~1669)に創建。源助の父母、両親の位牌及び源助の胴体部分の墓がある。
	⑰	曾根	D-4	明誓寺	永禄元年(1557)信州須坂付近から戦に敗れ、見帯に逃れてきた田子八郎明忠らが、永禄3年(1560)4月に創建。顕如上人及び親鸞聖人の絵像裏書が保存されている。
	⑱	矢島	C-5	矢島のお仙地藏	信濃西川(西川)が大河だったころ、しばしば大洪水があった。ある年の洪水のとき、若い娘お仙が現れ、人身御供となり激流に身を沈め洪水から村を救った。その供養に建立された。
	⑲	下山	B-5	下山の千体地藏	泉上寺の本堂にある。千体の小さな地藏(身の丈12cm)が安置されている。制作年代は不詳。最初は、下山の尼寺にあった。真田の伴家からの寄進という。寄進の目的は不明。
	⑲	槇島	B-5	槇島の生き地藏	昔、一人の浪人が槇島にやってきて、乱暴狼藉をしつづけた。村人が追い出そうとしたとき、浪人が刀で抵抗。その刀が地藏を斬りつけた。途端、地藏から血が吹き出したという伝承がある。
	⑲	矢島	C-5	山口嵐更句碑	大正15年(1926)矢島の俳諧の宗匠・小林鶯宿らが主唱し、基金を全国から集め、師匠である京都の五世山口嵐更彰徳のため建碑した。「咲く花のたしかさ見せて朝あらし」
	⑲	善光寺	D-3	越後善光寺	長野善光寺の本尊と同体の善光寺三尊が、安置されている。お堂は、明和2年(1763)に造営が開始され、明和8年に完成。境内に山門、鐘楼、宝蔵倉がある。善光寺集落により護持されている。
	⑲	曾根	C-4	西川の渡船場跡 (千隅橋)	江戸、明治、大正と西川の河川交通が盛んだったころ、曾根の港だった。付近は当時、荷物輸送で人の往来が多く、それに関わる商店、料理店も繁盛していたという。鱈への渡し場でもあった。
	産業	⑲	旗屋	D-5	日本を代表する縫製工場
⑲		六分	D-4 E-4	花の農園	西川地域唯一の花農園。ハウスの数、13棟。コチョウラン、シクラメン、サイネリヤ等、約30種類以上の花を栽培。春、秋の花壇の花苗(パンジー、ペゴニア、日々草)も栽培。直売もしている。
⑲		曾根	D-4	六斉市	曾根六番町~七番町にかけ、毎月2と7のつく日に開かれる露店市。歴史は古く、明誓寺が布教のため、永禄年間(1558~1569)から始めたといわれている。年々出店数が減り、現在14店余。
碑文・墓所	⑲	曾根	C-4	小沢精庵碑	小沢新兵衛(精庵)は、小田原藩士。諸国を歴訪して、尊王攘夷論を唱えた。天保8年(1837)見帯にきて困学塾を29年間開く。曾根神社境内に「聡明正直」の碑文がある。
	⑲	曾根	C-4	新保正興碑	天保3年(1833)曾根に生まれる。小沢精庵に学ぶ。江戸留学の後、曾根小学校を創設。のちに新潟師範学校教諭となり、本県教育に尽力をつくした。曾根神社境内に碑文がある。
	⑲	曾根	C-4	丸山祐軒翁碑文	吉田本町の生まれ。1800年代中期に曾根にきて開業医となり、三条大地震(1827)、疫病の大流行(1834)のとき多くの命を救う。曾根神社境内に翁碑文がある。
	⑲	曾根	C-5	田中伊八の墓所	幕末の天保年間(1830年代)、鎧湯周辺の悪水で苦しむ100余の村々のために、独力で水田の改善、開墾に尽くした。矢島の加藤恒樹宅に墓所がある。
地域の特色ある神社・寺・地藏尊	⑲	平野	C-3	平野の地藏尊	平野集落の入口にある。左手に宝珠、右手に錫杖を持っている。道祖神の意味があるようだ。
	⑲	西汰上	A-5	圓通庵観音堂	文政か天保年間(1800年代)の創建。寺の縁起では、西川が洪水にあったとき、観世音菩薩が2体流れてきて、1体が西汰上、もう1体が東汰上にとまったという。
	⑲	下山	B-4	法雲山泉上寺	西川地域唯一の禅寺(曹洞宗)。創立は貞享2年(1685)、開山は赤塚村・大滋寺の山峰寿沢大和尚。本堂、禅堂、庫裏からなる。現在の建物は、平成3年に完成。
	⑲	真田	B-6	真田諏訪社	祭神は、建御名方刀美命(たけみなかののみこと)。創建は不詳。産土神である。明治24年(1891)に社殿が完成。
	⑲	桑山	C-3	桑山諏訪社	集落の真ん中にある。創立年月日は不詳。本殿の天井絵は、平成5年8月に版画家・池田満寿夫氏の絵筆による16枚の組絵「飛鶴」が奉納されている。
	⑲	旗屋	D-4	旗屋諏訪社	集落の入り口にある。創立不詳。平安時代、黒鳥兵衛の乱を鎮圧するため源頼義、義家父子の軍勢がこの地に参集し、大量の旗差し物を作り直した。村名もここからきている。
	⑲	上組	D-3	桑湯稲荷神社	大正11年(1922)、桑山の槇田家から上組に移転した。上組神官の夢枕に「升湯に移りたい」という稲荷様のお告げがあったという。遷宮には、曾根の傘鉾を借りてオネリをした。
	⑲	升岡	G-2	すずたさま	昔、新川は早通川といって、99曲がりもあった。曲がりごとに激流となり、大蛇が住むといわれ何人もの子どもが命を落とした。村人は、水難が起きないようにとすずた様を奉ったという。
	⑲	貝柄	H-2	貝柄八幡宮	集落の中にある。創立は不詳。祭神は、第15代応神天皇。県内でも、初代以外の天皇が祭神の社は珍しい。天明5年(1786)坂井の中野清左エ門から寄進を受け遷座した。

# 西川地域の地図

西川地区の将来像

人と自然と産業が調和しながら  
進化・発展する地域をめざして



西川とだいらの家

西蒲区西川出張所  
市総合教育センター

西川地域保健福祉センター

豊かな稲穂

大沼

三角野

与兵衛野

具柄

堀土

豊田

大沼

大沼

大沼

大沼

大沼

大沼

大沼

大沼

大沼

大沼

大沼

大沼

大沼

大沼

大沼

大沼

大沼

大沼

大沼

大沼



あじさい並木

西川と代官橋

西川まつりのお稚児様行列

桜まつりのよさこい踊り

西川と諏訪大橋